

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書

令和 4 年 4 月 27 日

都道府県知事 殿

病院名 鶴岡市立荘内病院
開設者 鶴岡市長 皆川 治

医師法第 16 条の 2 第 1 項に規定する臨床研修に関する省令（平成 14 年厚生労働省令第 158 号）第 12 条に基づき、年次報告書を提出いたします。

また、併せて、同省令第 9 条に基づき、**1.** 研修プログラムの変更、**2.** 研修プログラムの新設を届け出ます。（研修プログラムを変更する場合には「1. 研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「2. 研修プログラムの新設」に○をつけてください。）

1. 基幹型臨床研修病院 **2.** 協力型臨床研修病院 （報告又は届出を行う臨床研修病院の型の番号に○をつけてください。）

- ・ 項目番号 1 から 27 までについては、年次報告において記入してください。
- ・ 研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号 28 から 39 までについても記入してください。

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 1 －

病院施設番号：030898 臨床研修病院の名称：鶴岡市立荘内病院

記入日：西暦 2022 年 4 月 日

病院施設番号 (基幹型、協力型記入) 既に番号を取得している臨床研修病院については 病院施設番号を記入してください。		030898		臨床研修病院群の名称 (基幹型、協力型記入) 既に臨床研修病院群番号を有している臨床 研修病院群については、番号も記入し てください。		名称 鶴岡市立荘内病院臨床研修病院群 番号 0308981	
作成責任者の氏名及び連絡先 (基幹型、協力型記入) 本報告書の問合せに対して回答できる作成 責任者について記入してください。	フリガナ イケノ			フミカ			役職 総務課経営企画係主事 (内線 6327) (直通電話 (0235) 26—5111) e-mail : rinken@shonai-hos.jp (携帯電話のメールアドレスは不可とします。)
	氏名 (姓) 池野			(名) 文香			
1. 病院の名称 (基幹型、協力型記入)		フリガナ ツルオカシリツショウナヘ ヨウイン 鶴岡市立荘内病院					
2. 病院の所在地及び二次医 療圏の名称 (基幹型・協力型記入)		〒 9 9 7 - 8 5 1 5 (山 形 県) 鶴岡市泉町 4 番 2 0 号 電話 : (0235) 26-5111 F A X : (0235) 26-5110 二次医療圏 の名称 : 庄内二次医療圏					
3. 病院の開設者の氏名 (法 人の名称) (基幹型・協力型記入)		フリガナ ツルオカシチョウ ミナカワ オサム 鶴岡市長 皆川 治					
4. 病院の開設者の住所 (法 人の主たる事務所の所在 地) (基幹型・協力型記入)		〒 9 9 7 - 8 5 1 5 (山 形 県) 鶴岡市泉町 4 番 2 0 号 電話 : (0235) 26-5111 F A X : (0235) 26-5110					
5. 病院の管理者の氏名 (基幹型・協力型記入)		フリガナ ヤギ			ミノル		
		姓 八木			名 実		
6. 研修管理委員会の構成員の氏名 及び開催回数 (基幹型記入)		* 別紙 1 に記入 研修管理委員会のすべての構成員(協力型臨床研修病院及び臨床研修協力施設に所属する者を含む。)について記入してください。					
7. 病院群の構成等 (基幹型記入)		* 別表に記入 病院群を構成するすべての臨床研修病院、臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について記入してください。					
8. 病院のホームページアドレス (基幹型・協力型記入)		https://www.shonai-hos.jp					

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 2 －

病院施設番号： 030898

臨床研修病院の名称： 鶴岡市立荘内病院

		※	
9. 医師（研修医を含む。）の員数 （基幹型・協力型記入）			常勤： 74 名、非常勤（常勤換算）： 1.5 名 計（常勤換算）： 75.5 名、医療法による医師の標準員数： 24.3 名 * 研修医の氏名等について様式 3 に記入
10. 救急医療 の提供の実績 （基幹型・協力型記入）	救急病院認定の告示		告示年月日：西暦 2018 年 6 月 5 日、告示番号：第 463 号
	医療計画上の位置付け		1. 初期救急医療機関 2. 第二次救急医療機関 3. 第三次救急医療機関
	救急専用診療（処置）室の有無		1. 有 (379.080) m ² 0. 無
	救急医療の実績		前年度の件数： 19,417 件（うち診療時間外： 11,586 件） 1 日平均件数： 53.2 件（うち診療時間外： 31.7 件） 救急車取扱件数： 3,668 件（うち診療時間外： 2,371 件）
	診療時間外の勤務体制		医師： 3 名、看護師及び准看護師： 7 名
	指導を行う者の氏名等		* 別紙 4 に記入
	救急医療を提供している診療科		内科系 1. 有 0. 無） 外科系 1. 有 0. 無） 小児科 1. 有 0. 無） その他（)
11. 医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。） （基幹型・協力型記入）			1. 一般： 518 床、2. 精神： 床、3. 感染症： 床 4. 結核： 床、5. 療養： 床
12. 診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数 （基幹型・協力型記入）			* 別紙 2 に記入
13. 病床の種別ごとの平均在院日数（小数第二位四捨五入） （基幹型・協力型記入）			1. 一般： 13.1 日、2. 精神： . 日、3. 感染症： . 日 4. 結核： . 日、5. 療養： . 日
14. 前年度の分娩件数 （基幹型・協力型記入）			正常分娩件数： 131 件、異常分娩件数： 120 件
15. 臨床病理 検討会（CPC）の実施状況 （基幹型・協力型記入）	開催回数		前年度実績： 1 回、今年度見込： 10 回 ※報告・届出病院の主催の下に開催した回数を記載
	指導を行う病理医の氏名等		* 別紙 4 に記入
	剖検数		前年度実績： 2 件、今年度見込： 4 件
	剖検を行う場所		当該医療機関の剖検室 1. 有 0. 無（) 大学、() 病院 無を選択した場合には、剖検を実施している大学又は病院を記入してください。
16. 研修医のための宿舎及び研修医室の有無 （基幹型・協力型記入）	研修医の宿舎		1. 有（単身用： 19 戸、世帯用： 21 戸） 0. 無（住宅手当： 円） 有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。
	研修医室		1. 有（ 室） 0. 無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。
17. 図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況 （基幹型・協力型記入）	図書室の広さ		(75.000) m ²
	医学図書数		国内図書：12,560 冊、国外図書：1,362 冊
	医学雑誌数		国内雑誌：107 種類、国外雑誌：14 種類
	図書室の利用可能時間		0：00 ～ 24：00 24 時間表記
	文献データベース等の利用環境		Medline 等の文献データベース 1. 有 0. 無）、教育用コンテンツ 1. 有 0. 無）、 その他（) 利用可能時間（ 0：00 ～ 24：00 ）24 時間表記
	医学教育用機材の整備状況		医学教育用シミュレーター 1. 有 0. 無）、 その他（)

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 3 －

病院施設番号： 030898

臨床研修病院の名称： 鶴岡市立荘内病院

[illegible]

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 4 －

病院施設番号： 030898

臨床研修病院の名称： 鶴岡市立荘内病院

項目 27 までについては、報告時に必ず記入してください。		※
２４．精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況 （基幹型・協力型記入） 精神科の研修を行う臨床研修病院については記入してください。		1. 精神保健福祉士： 名（常勤： 名、非常勤： 名） 2. 作業療法士： 名（常勤： 名、非常勤： 名） 3. 臨床心理技術者： 名（常勤： 名、非常勤： 名） 9. その他の精神科技術職員： ______名（常勤： 名、非常勤： 名）
２５．第三者評価の受審状況 （基幹型記入）		① 有 （評価実施機関名：公益財団法人　日本医療機能評価機構 （2021年12月23日、24日）） 〇．無 有を選択した場合には、評価実施機関名及び直近の受審日を記入してください。
２６．前年度に育児休業を取得した研修医の数 （基幹型・協力型記入）		女性 １年次研修医（ ）名 ２年次研修医（ ）名 男性 １年次研修医（ ）名 ２年次研修医（ ）名
２７．研修医の妊娠・出産・育児に関する施設及び取組に関する事項 （基幹型・協力型記入）	院内保育所	院内保育所の有無 ① 有 〇．無） 有を選択した場合、開所時間を記入してください （ 7時 30分 ～ 18時 30分） 病児保育 （１．有 〇 無） 夜間保育 （１．有 〇 無） 上記保育所は研修医の子どもに使用可能か ① 可 〇．不可） ベビーシッター・一時保育等利用時の補助 ① 有 〇．無） その他の補助（具体的に： _____ ）
	保育補助	
	体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所	休憩場所 ① 有 〇．無） 授乳スペース ① 有 〇．無）
	その他育児関連施設・取組があれば記入（院外との連携した取組もあれば記入）	（ _____ ）
	研修医のライフイベントの相談窓口	１．有 〇 無 窓口の名称がある場合記入（ _____ ） 窓口の専任担当 １．有（ 名） 〇．無
	各種ハラスメントの相談窓口	窓口の名称を記入（ _____ ） 窓口の専任担当 １．有（ 名） 〇 無
	※ここからは研修プログラムごとに記入してください。研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。	
	２８．研修プログラムの名称 （基幹型・協力型記入） プログラム番号は、既にプログラム番号を取得されている場合に記入してください。	
２９．研修医の募集定員 （基幹型記入）		１年次： 6名、２年次： 名

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 5 －

病院施設番号：030898
 臨床研修病院の名称：鶴岡市立荘内病院

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

30. 研修医の募集及び採用の方法 (基幹型記入)	研修プログラムに関する問い合わせ先	フリガナ 氏名（姓） （名） 所属 役職 電話：（ ） — F A X：（ ） — e-mail： URL：http://	
	資料請求先	住所 〒 □□□ — □□□□ （ 都・道・府・県） 担当部門 担当者氏名 フリガナ 姓 名 電話：（ ） — F A X：（ ） — e-mail： URL：http://	
	募集方法	1. 公募 2. その他（具体的に： ）	
	応募必要書類 （複数選択可）	1. 履歴書、2. 卒業（見込み）証明書、3. 成績証明書、 4. 健康診断書、5. その他（具体的に： ）	
	選考方法 （複数選択可）	1. 面接 2. 筆記試験 その他（具体的に： ）	
	募集及び選考の時期	募集時期： 月 日頃から 選考時期： 月 日頃から	
	マッチング利用の有無	1. 有 0. 無	
	31. 研修プログラムの名称及び概要 (基幹型記入)		概要：＊ 別紙3に記入 （作成年月日：西暦 年 月 日）
	32. プログラム責任者の氏名等（副プログラム責任者が配置されている場合には、その氏名等） (基幹型記入) ＊ プログラム責任者の履歴を様式2に記入 ＊ 副プログラム責任者が配置されている場合にあっては、副プログラム責任者の履歴を様式2に記入		（プログラム責任者） フリガナ 氏名（姓） 氏名（名） 所属 役職 （副プログラム責任者） 1. 有（ 名） 0. 無
	33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等 (基幹型記入) すべての臨床研修指導医等（協力型臨床研修病院に所属する臨床研修指導医及び臨床研修協力施設に所属する臨床研修の指導を行う者を含む。）について氏名等を記入してください。		＊ 別紙4に記入
34. インターネットを用いた評価システム		1. 有（ ・EPOC ・その他（ ） ） 0. 無	
35. 研修開始時期 (基幹型、地域密着型記入)		西暦 年 月 日	
36. 研修医の処遇 (基幹型・協力型記入)	処遇の適用 （基幹型臨床研修病院は、2に○をつけて、以下の各項目について記入してください。）	1. 基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする。 1を選択した場合には、以下の研修医の処遇の項目については、記入不要です。	
	常勤・非常勤の別	1. 常勤 2. 非常勤	

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 6 －

病院施設番号： 030898

臨床研修病院の名称： 鶴岡市立荘内病院

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

[illegible]

※欄は、記入しないこと。

(記入要領)

- 1 研修プログラムを変更する場合には「1. 研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「2. 研修プログラムの新設」に○をつけること。
- 2 報告又は届出を行う臨床研修病院の型に応じて、「1. 基幹型臨床研修病院 2. 協力型臨床研修病院」の番号に○をつけること。
- 3 特に定めのあるもののほか、原則として、報告・届出日の属する年度（以下「報告・届出年度」という。）の4月1日現在で作成すること。
- 4 既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入し、前回提出した報告書の内容と異なる項目について記入すること。
- 5 各項目に、記入が必要な臨床研修病院の型を記載しているので、臨床研修病院の型に合わせて、記入が必要な項目について記入すること。
- 6 （基幹型・協力型記入）と記載されている項目は、基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院のすべての臨床研修病院が記入対象となること。
- 7 （1. 有 0. 無）のように選択形式の項目は、いずれかに○をつけること。
- 8 項目番号1から27までについては、年次報告において記入すること。
- 9 研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号28から39までについても記入すること。
- 10 ※欄は、記入しないこと。
- 11 「作成責任者の氏名及び連絡先」欄の作成責任者は、記載内容について十分回答できる者とする。
- 12 「病院群の構成等」欄は、病院群を構成するすべての臨床研修病院、大学病院及び臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について別表に記入すること。
- 13 「病院のホームページアドレス」欄は、当該病院がホームページを有する場合にのみ記入することで差し支えないこと。
- 14 「医師（研修医を含む。）の員数」欄について

- (1)「医療法第21条の規定に基づく人員の算定に当たっての取扱い等について」（平成10年6月26日付け健政発第777号・医薬発第574号）に基づき、当該病院に勤務する医師（研修医を含む。）について記入すること。なお、歯科医師は算定しないこと。
- (2)「常勤」とは、原則として当該病院で定めた医師の勤務時間のすべてを勤務する者をいうものであること。
- (3)「非常勤」については、常勤以外の医師について、次に掲げる換算式により常勤換算をした数を記入すること。

※ 換算式

$$\frac{\text{非常勤医師の1週間の勤務時間数}}{\text{常勤医師の1週間の勤務時間数}} = \text{常勤換算をした数（小数第二位を四捨五入）}$$

- (4)「計（常勤換算）」については、常勤医師数と非常勤医師を常勤換算した数の合計を記入すること。
- (5)「医療法による医師の標準員数」は、医療法施行規則第19条第1項第1号の規定に従い、次に掲げる算出式により算出すること（患者数は、入院及び外来とも報告・届出年度の前年度の1日平均とすること。）。

※ 算出式

$$\left[\frac{\text{精神病床及び療養病床に係る入院患者数（歯科の入院患者数を除く。）}}{3} + \text{精神病床及び療養病床以外の病床に係る入院患者数（歯科の入院患者数を除く。）} + \frac{\text{外来患者数（精神科、耳鼻咽喉科、眼科及び歯科の外来患者数を除く。）}}{2.5} + \frac{\text{精神科、耳鼻咽喉科及び眼科の外来患者数}}{5} - 52 \right] \times \frac{1}{16} + 3 = \text{医師の標準員数}$$

ただし、医療法施行規則第43条の2に該当する病院については、上記算出式によらないものとする。

- (6) 当該病院の研修プログラムで研修を行っているすべての研修医の氏名等について、様式3に記入すること（歯科医師は記入しない。）。

15 「救急医療の提供の実績」欄について

- (1)「救急病院認定の告示」欄は、「救急病院等を定める省令」（昭和39年厚生省令第186号）に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院である場合に、告示年月日（西暦）及び告示番号を記入するものであること。
- (2)「医療計画上の位置付け」欄は、医療計画上、初期救急医療機関、第二次救急医療機関又は第三次救急医療機関として位置付けられている場合に、該当する番号に○をつけるものであること。
- (3)「救急専用診療（処置）室の有無」欄は、救急専用診療（処置）室を有する場合には、「1. 有」に○をつけるとともに、その面積を記入し、有しない場合には、「0. 無」に○をつけること。
- (4)「救急医療の実績」欄については、「前年度の件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数（来院方法を問わず、すべての件数）、「1日平均件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数を年間総日数（365又は366）で除した数、また、「救急車取扱件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数のうちで来院方法が救急車によるものの数をそれぞれ記入すること。さらに、これらの件数のうち診療時間外に受け付けた件数について、それぞれの「うち診療時間外」欄に記入すること。
- (5)「診療時間外の勤務体制」については、「医師」数は、「救急医療を提供している診療科」の診療時間外の勤務体制における医師数を記入すること。また、「看護師及び准看護師」数は、専ら救急医療を提供するための病棟・外来に勤務する看護師及び准看護師のうち、診療時間外の交代制及び宿日直体制における看護師及び准看護師数を記入すること。
- (6)「指導を行う者の氏名等」欄については、救急医療の指導を行う者について別紙4に記入すること。
- (7)「救急医療を提供している診療科」欄は、内科系、外科系又は小児科に係る救急医療の提供の有無について、該当する番号に○をつけ、その他の診療科に係る救急医療を提供している場合には、「その他」欄に当該診療科名を記入すること。

16 「医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。）」欄は、当該病院の病床の種別ごとの許可病床数を記入すること。

- 17 「病床の種別ごとの平均在院日数」欄は、次に掲げる算出式により算出した、報告・届出年度の前年度の平均在院日数を記入すること。ただし、在院患者延日数とは、報告・届出年度の前年度の毎日午後12時現在の在院患者数を合計した数とすること。なお、在院患者延日数、新入院患者数及び退院患者数については、保険診療であるか否かを問わないものであること。

※ 算出式

$$\frac{\text{在院患者延日数}}{1/2 \text{（新入院患者数} + \text{退院患者数）}} = \text{平均在院日数（小数第二位を四捨五入）}$$

18 「前年度の分娩件数」欄は、報告・届出年度の前年度の正常分娩件数及び異常分娩件数についてそれぞれ記入すること。

19 「臨床病理検討会（CPC）の実施状況」欄について

- (1)「開催回数」欄は、報告・届出病院の主催の下に開催したCPCの報告・届出年度の前年度の開催回数及び報告・届出年度の開催見込数を記入する

- こと。
- (2)「剖検数」欄は、報告・届出年度の前年度の剖検件数及び報告・届出年度の剖検見込数を記入すること。
- (3)「剖検を行う場所」欄は、剖検を当該医療機関の剖検室で行っている場合は「1. 有」に○をつけること。また、剖検を当該医療機関の剖検室で行っていない場合には、「0. 無」に○をつけるとともに、剖検を大学の剖検室において行っているときは「() 大学」に当該大学名を記入し、剖検を他病院の剖検室で行っているときは「() 病院」に当該病院名を記入すること。
- 20 「研修医のための宿舎及び研修医室の有無」欄について
- (1)「研修医の宿舎」欄は、研修医の利用に供する宿舎（当該病院の敷地の内外を問わない。）を有する場合は「1. 有」に○をつけるとともに、「単身用」・「世帯用」のそれぞれの戸数を記入すること。また、研修医のための宿舎を有さない場合は「0. 無」に○をつけるとともに、住宅手当の支給内容（全額支給、一律〇〇円、最低〇〇円から最高〇〇円の範囲内で負担額に応じて支給等）を記入すること（住宅手当を支給していない場合には「0円」と記入すること。）。
- (2)「研修医室」欄は、研修医室を有する場合は「1. 有」に○をつけるとともに、その室数を記入すること。また、研修医室を有さない場合は「0. 無」に○をつけること。
- 21 「図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況」欄について
- (1)「文献データベース等の利用環境」欄は、Medline 等の文献データベース及び教育用コンテンツのそれぞれについて、利用できる場合は「1. 有」に○をつけ、利用できない場合には「0. 無」に○をつけること。また、文献データベース及び教育用コンテンツ以外に、これに類するもので利用できるものがある場合は「その他 ()」にその内容を記入すること。
- (2)「医学教育用機材の整備状況」欄は、医学教育用シミュレーターの整備の有無について該当する番号に○をつけること。また、臨床研修に必要なその他の医学教育用機材を整備している場合は「その他 ()」にその内容を記入すること。
- 22 「病歴管理体制」欄について
- (1)「診療に関する諸記録の管理方法」欄は、診療に関する諸記録（診療録、病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約等）に関する管理方法について、主に中央管理を行っている場合には「1. 中央管理」、主に各科管理を行っている場合には「2. 各科管理」に○をつけること。また、いずれにも該当しない場合は「その他」欄にその内容を具体的に記入すること。
- (2)「診療録の保存方法」欄は、診療録を文書により保存している場合には「1. 文書」、電子媒体により保存している場合には「2. 電子媒体」に○をつけること。また、双方併用で保存している場合等は「その他」欄に具体的に記入すること。
- 23 「医療安全管理体制」欄について
- (1)「安全管理者の配置状況」欄は、安全管理者を配置している場合は「1. 有」に○をつけるとともに、その人数を記入すること。また、安全管理者を配置していない場合には「0. 無」に○をつけること。
- (2)「安全管理部門の設置状況」欄は、安全管理部門の専任職員及び兼任職員の数をそれぞれ記入するとともに、安全管理部門の主な活動内容を記入すること。
- (3)「患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況」欄は、患者相談窓口の責任者の氏名及び役職並びに患者相談への対応時間を記入するとともに、患者相談窓口に係る規約を有する場合は「1. 有」に○をつけ、有さない場合には「0. 無」に○をつけること。
- 24 「受入可能定員」欄は、医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。）からの算出（÷ 10）及び年間入院患者数（報告・届出年度の前々年度からの繰越患者数＋報告・届出年度の前年度の新規入院実患者数）からの算出（÷ 100）の双方とも記入すること。
- 25 「当該病院からの医師派遣実績」欄は、「加算する数値については、研修医の募集を行う年度の前年度末の時点で医師派遣等が行われている常勤の医師数が20人以上の場合を1とし、5人増える毎に1を加え、80人以上の場合を13」とする。
- 26 「精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況」欄は、当該病院が精神科の研修を行う場合に記入するものであり、精神保健福祉士、作業療法士、臨床心理技術者のそれぞれの職種について、職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。また、これらの職種以外にも精神科に係る技術職員がいる場合は、その職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。
- 27 「前年度に育児休業を取得した研修医の数」は、当該年度に育児休業を取得した研修医がいる場合は、男女、年次別にその人数を記入すること。
- 28 「研修医の妊娠・出産・育児に関する施設及び取組に関する事項」欄については、
- (1)「院内保育所」欄は、病院内に保育所等の保育施設を有している場合は「1. 有」に○をし、保育所の基本的な開所時間を記入すること。ない場合には「0. 無」に○をすること。「病児保育」・「夜間保育」欄は、院内保育所で病児保育・夜間保育を行っている場合は、それぞれにつき「1. 有」に○をし、ない場合はそれぞれにつき「0. 無」に○をすること。「上記保育所は研修医の子どもにも使用可能か」欄は、上記で回答した保育所に研修医が子どもを預けることが可能な場合は「1. 可」に○をし、預けることができない場合は「0. 不可」に○をすること。
- (2)「保育補助」欄は、ベビーシッターや一時保育等利用時の補助を病院が行っている場合は「1. 有」に○をし、ない場合は「0. 無」に○をすること。その他に何らかの保育補助を行っている場合は、その他欄にその内容を具体的に記入すること。
- (3)「体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所」欄は、病院内に研修医が使用できる休憩場所や授乳スペースを有している場合は、それぞれにつき「1. 有」に○をし、ない場合はそれぞれにつき「0. 無」に○をすること。
- (4)「その他育児関連施設・取組」欄は、上記(10)～(12)に該当しない、育児関連施設を有している場合や育児関連の取組を行っている場合（院外施設・制度との連携した取組も含む）は、回答欄内にその内容を具体的に記入すること。
- (5)「研修医のライフイベント相談窓口」欄は、病院内に研修医がライフイベントについて相談できる窓口を設置している場合は「1. 有」に○をし、ない場合は「0. 無」に○をすること。「1. 有」を選択した病院は、その窓口の名称がある場合は記載し、窓口の専任担当がいる場合は「1. 有」に○をして、その人数を記載すること、専任担当がいない場合は「0. 無」に○をすること。
- (6)「各種ハラスメント相談窓口」欄は、病院内に研修医が各種ハラスメントについて相談できる窓口の名称について記載し、窓口の専任担当がいる場合は「1. 有」に○をして、その人数を記載すること、専任担当がいない場合は「0. 無」に○をすること。
- 29 「研修プログラムの名称」以降の欄については、研修プログラムごとに別葉に記入すること。
- 30 「インターネットを用いた評価システム」欄は、該当するものに○をつけ、「1. 有」を選択した場合は、EPOC かその他を選択すること。
- 31 「研修医の募集定員」については、当該病院で臨床研修を行っている1年次及び2年次の合計が受入可能定員を超えないこと。
- 32 「研修医の募集及び採用の方法」欄について
- (1)「募集方法」欄は、研修医を公募により募集する場合には「1. 公募」に○をつけ、その他の方法とする場合にはその他欄にその内容を具体的に記入すること。

- (2)「応募必要書類」欄は、研修医が選考に応募する際に必要な書類すべてに○をつけ、その他に必要な書類がある場合には、その他欄にその内容を具体的に記入すること。
- (3)「選考方法」欄は、研修医の選考方法について該当するものすべてに○をつけ、その他に選考方法を設ける場合には、その他欄にその内容を具体的に記入すること。
- (4)「募集及び選考の時期」欄は、募集及び選考の時期について、具体的に記入すること。
- (5)「マッチング利用の有無」欄は、マッチングを利用する場合には「1. 有」に○をし、マッチングを利用しない場合には「0. 無」に○をすること。

32 「研修医の処遇」欄について

- (1)「処遇の適用」欄については、基幹型臨床研修病院は、2に○をつけ、以降の研修医の処遇の各項目について記入すること。また、協力型臨床研修病院は、基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする場合には、1に○をつけ（この場合、以降の研修医の処遇の項目については記入しなくとも差し支えないこと。）、また、病院独自の処遇とする場合には、2に○をつけること。
- (2)「研修手当」欄は、研修医の基本的な研修手当について、1年次及び2年次の基本手当の額（税込み）、賞与の支給額を記入すること。基本手当が月給ではない場合にあっては、およその月額を記入すること。時間外手当及び休日手当を支給する場合は、それぞれ「1. 有」に、支給しない場合には「0. 無」に○をつけること。なお、時間外勤務及び休日勤務がある場合においては、時間外手当及び休日手当が支給されるものと考えられること。
- (3)「勤務時間」欄は、研修医の基本的な勤務時間及び勤務時間中の休憩時間について記入すること。また、「時間外勤務の有無」欄は、時間外勤務がある場合には「1. 有」に、ない場合には「0. 無」に○をつけること。
- (4)「休暇」欄は、研修医の基本的な休暇の内容について、1年次及び2年次の有給休暇付与日数を記入すること。また、夏季休暇、年末年始休暇の有無について該当するものに○をつけること。また、これら以外に休暇を付与する場合は、その具体的休暇名を記入すること。
- (5)「当直」欄は、研修医の一月あたりのおよその当直回数について記入すること。
- (6)「社会保険・労働保険」欄は、研修医に適用される社会保険・労働保険について、「公的医療保険（ ）」欄に「組合健康保険」等と、「公的年金保険（ ）」欄に「厚生年金保険」等と記入し、「労働者災害補償保険法の適用」欄、「国家・地方公務員災害補償法の適用」欄、「雇用保険」欄のそれぞれ該当するものに○をつけること。
- (7)「健康管理」欄は、研修医の基本的な健康管理について、健康診断の回数を記入すること。また、健康診断以外で健康管理を実施している場合は、「その他」欄に具体的に記入すること。
- (8)「医師賠償責任保険の扱い」欄は、研修医の医師賠償責任保険の基本的な扱いについて該当するものに○をつけること。
- (9)「外部の研修活動」欄は、学会、研究会等への参加を認めるか否かについて該当するものに○をつけ、認める場合における参加費用の支給の有無についても、該当するものに○をつけること。

7. 病院群の構成等

別表

基幹型又は地域密着型病院の名称（所在都道府県）：鶴岡市立荘内病院（山形県）

基幹型又は地域密着型臨床研修病院				協力型臨床研修病院					臨床研修協力施設					研修プログラム	
所在都道府県	二次医療圏	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	名称	定員
山形県	庄内二次保健医療圏	鶴岡市立荘内病院 (病院施設番号:030898)		山形県	庄内		山形県立こころの医療センター (病院施設番号:030071)		山形県	庄内		鶴岡協立病院 (病院施設番号:031263)		鶴岡市立荘内病院臨床研修プログラム	6
				山形県	置賜		公立置賜総合病院 (病院施設番号:030894)		山形県	庄内		鶴岡市立湯田川温泉リハビリテーション病院 (病院施設番号:032520)			
				山形県	庄内		医療法人徳洲会 庄内余目病院 (病院施設番号:031060)		山形県	庄内		山形県庄内保健所 (病院施設番号:033428)			
							(病院施設番号:)					(病院施設番号:)			
							(病院施設番号:)					(病院施設番号:)			
							(病院施設番号:)					(病院施設番号:)			
							(病院施設番号:)					(病院施設番号:)			
							(病院施設番号:)					(病院施設番号:)			
							(病院施設番号:)					(病院施設番号:)			
							(病院施設番号:)					(病院施設番号:)			

病院群を構成する臨床研修病院及び研修協力施設（病院又は診療所に限る）が同一の二次医療圏又は同一の都道府県を越えている場合は、その理由を以下に記載。

十分な指導体制のもとで様々な経験及び能力形成が可能であり、一般的な診療において頻繁に関わる負傷又は疾病に適切に対応できるような基本的な診療能力を身に付けることができる。当院では実施していない診療科も研修できるよう、県内近隣の総合病院と連携し充実した研修を行うため。

- ※ 該当する項目について、上から病院施設番号順に詰めて記入すること。
- ※ 病院群を構成するすべての基幹型病院、地域密着型病院、協力型病院及び臨床研修協力施設（今回の届出により削除しようとするものを含む。）の所在都道府県、二次医療圏、名称をそれぞれの「所在都道府県」「二次医療圏」、「名称」欄に記入（既に病院施設番号を取得している研修病院等は番号を「名称」欄に記入）した上で、それぞれの施設が新たに臨床研修協力病院（協力施設）となる場合は「新規」欄に「○」を記入し、また、臨床研修病院（協力施設）を追加又は削除する場合にはそれぞれの施設が以前の病院群に追加されるか以前の病院群から削除されるかにより「追加・削除」欄に「追加」又は「削除」を記入すること。
- ※ 当該病院群に係るすべての研修プログラムの名称及び募集定員（自治医科大学卒業生分等マッチングによらないものを含む）を「研修プログラム」欄に記入すること。

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和3年度開催回数2回）

病院施設番号：030898 臨床研修病院の名称：鶴岡市立荘内病院

氏名		所属	役職	備考
フリガナ 姓 ^ス	ミル	鶴岡市立荘内病院	病院事業管理者	指導医
姓 八木	名 実			
フリガナ ス ^キ	サシ	鶴岡市立荘内病院	院長	指導医
姓 鈴木	名 聡			
フリガナ ｲ ^ウ ｼ	ﾋﾛｽ ^ｽ	鶴岡市立荘内病院	副院長	プログラム責任者、指導医
姓 五十嵐	名 裕一			
フリガナ ｻｶﾓﾄ	ｶﾙ	鶴岡市立荘内病院	診療部主幹	研修管理委員長、指導医
姓 坂本	名 薫			
フリガナ ﾏﾙﾔ	ﾋﾛｼ	鶴岡市立荘内病院	診療部主幹	指導医
姓 丸谷	名 宏			
フリガナ ﾑﾙﾔ	ﾊﾘﾋｺ	鶴岡市立荘内病院	診療部主幹	指導医
姓 古屋	名 紀彦			
フリガナ ﾏﾗｲ	ｹｲ	鶴岡市立荘内病院	副主任医長	指導医
姓 新井	名 啓			
フリガナ ﾐﾔｻﾞﾜ	ﾋﾛｱｷ	鶴岡市立荘内病院	医長	指導医
姓 宮澤	名 弘哲			
フリガナ ｲｼｶﾞｷ	ﾀﾞｲｽｹ	鶴岡市立荘内病院	医長	指導医
姓 石垣	名 大輔			
フリガナ ｻﾄｳ	ｺｳｲﾁ	鶴岡市立荘内病院	医長	指導医
姓 佐藤	名 紘一			

※ 1 ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和3年度開催回数 2回）

病院施設番号：030898 臨床研修病院の名称：鶴岡市立荘内病院

氏名		所属	役職	備考
フリガナ フジタ	スガ	鶴岡市立荘内病院	医長	
姓 藤田	名 英			
フリガナ ヤノ	リョウ	鶴岡市立荘内病院	医長	指導医
姓 矢野	名 亮			
フリガナ サトウ	カズヒコ	鶴岡市立荘内病院	医員	
姓 佐藤	名 和彦			
フリガナ サトウ	ユキ	鶴岡市立荘内病院	事務部長	事務部門の責任者
姓 佐藤	名 豊			
フリガナ カネダ	ヒデト	山形県立こころの医療センター	院長	協力型臨床研修病院研修実施責任者
姓 神田	名 秀人			
フリガナ エグチ	ヒデユキ	公立置賜総合病院	副院長	協力型臨床研修病院研修実施責任者
姓 江口	名 英行			
フリガナ テラタ	ヤシ	医療法人徳洲会庄内余目病院	院長	協力型臨床研修病院研修実施責任者
姓 寺田	名 康			
フリガナ タカハシ	マサロウ	鶴岡協立病院	副院長	臨床研修協力施設研修実施責任者
姓 高橋	名 牧郎			
フリガナ アノ	ヨシカズ	山形県庄内保健所	所長	臨床研修協力施設研修実施責任者
姓 蘆野	名 吉和			
フリガナ タケダ	ノブ	鶴岡市立湯田川温泉リハビリテーション病院	院長	臨床研修協力施設研修実施責任者
姓 武田	名 憲夫			

※ 1 ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和3年度開催回数 2回）

病院施設番号：030898 臨床研修病院の名称：鶴岡市立荘内病院

氏名		所属	役職	備考
フリガナ イシハラ	リョウ	鶴岡地区医師会	鶴岡地区医師会理事	外部委員(医師)
姓 石原	名 良			
フリガナ イノ	フミカ	鶴岡市立荘内病院	総務課経営企画係主事	事務局
姓 池野	名 文香			
フリガナ				
姓	名			
フリガナ				
姓	名			
フリガナ				
姓	名			
フリガナ				
姓	名			
フリガナ				
姓	名			
フリガナ				
姓	名			
フリガナ				
姓	名			
フリガナ				
姓	名			

※ 1 ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

12. 診療科ごとの入院患者・外来患者の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

臨床研修病院の名称：鶴岡市立荘内病院

病院施設番号：030898

区 分	内 科	救急部門	外 科	麻酔科 （部門）	小 児 科	産婦人科	又は		精 神 科	病 院 で 定 め た 必 修 科 目 の 診 療 科	その他の研修を行う診療科							合 計
							産 科	婦人科			皮膚科	泌尿器科	眼科	耳鼻咽喉科	放射線科	・ 中央検査科 病理科	研修医	
年間入院患者実数 （ ）内は救急件数 又は分娩件数	3, 759	(19, 417)	3, 351	0	904	708 (251)	()		0		14	440	324	23	0	0	0	9, 523
年間新外来患者数	9, 675		3, 047	22	1, 390	363			1		235	479	574	258	145	0	0	16, 232
1 日平均外来患者 数 （ ）内は年間外来 診療日数	277. 2 (242)	(365)	165. 0 (242)	6. 0 (242)	38. 8 (242)	30. 6 (242)	()	()	2. 1 (242)	()	5. 6 (242)	45. 9 (242)	37. 1 (242)	7. 7 (242)	14. 0 (242)	0 (242)	0 (242)	
平均在院日数	17. 3		13. 0	0. 0	7. 2	7. 9			0. 0		11. 1	10. 3	2. 4	5. 0	0. 0	0. 0	0. 0	
常勤医師数 （うち臨床研修指 導医（指導医）数）	16 (11)	1 (1)	20 (8)	3 (2)	8 (5)	4 (2)	()	()	0 (0)	()	1 (0)	2 (1)	2 (0)	1 (0)	2 (1)	2 (0)	10 (0)	71 (32)

※ 「年間入院患者実数」とは、申請年度の前々年度の繰越患者数に申請年度の前年度中における新入院患者数を加えた数とすること。「年間新外来患者数」とは、申請年度の前年度中に来院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数とすること。「1日平均外来患者数」とは、年間外来患者延数÷年間外来診療日数による数（小数第二位を四捨五入）とすること。「病院で定めた必修科目の診療科」欄等が足りない場合には、続紙（様式自由）に記載し添付すること。「救急件数」及び「分娩件数」とは、11. の救急医療の実績の前年度の件数及び15. の正常分娩件数と異常分娩件数の合計とすること。

※ 「内科」とは、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科等を含めた広義の内科のうち基本研修科目の内科分野の研修を行う診療科であり、「外科」とは、心臓血管外科、呼吸器外科、脳外科等を含めた広義の外科のうち基本研修科目の外科分野の研修を行う診療科であること。

※ 基幹型指定申請においては、内科及び救急部門に係る患者の症例リストを添付すること。（様式任意）

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令和4年度分)								臨床研修病院の名称：鶴岡市立荘内病院						
								病院施設番号：030898						
基幹型病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	11～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
鶴岡市立荘内病院	内科	2	2	3	4	5	4	3	3	4	3	3	3	3
鶴岡市立荘内病院	救急部門	0	1	1	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0
鶴岡市立荘内病院	地域医療	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
鶴岡市立荘内病院	外科	1	2	1	1	0	1	1	0	1	1	0	0	0
鶴岡市立荘内病院	麻酔科	1	0	1	1	0	0	0	1	0	1	1	1	1
鶴岡市立荘内病院	小児科	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	1
鶴岡市立荘内病院	産婦人科	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	1	1	1
鶴岡市立荘内病院	精神科	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
山形大学医学部附属病院	選択科	1	0	0	1	1	1	2	1	1	2	2	2	2

※ 申請年度の次年度分、次々年度分を別葉で作成すること。

※ 「基幹型病院名」欄には、当該病院が申請年度の次年度又は次々年度に研修医を受け入れる基幹型病院の名称及びそのプログラムにおける自病院の担当分野をすべて記入し（自病院が基幹型病院の場合は、自病院を一番上に記入すること）、基幹型病院及び担当分野ごとに各週に受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令和5年度分)								臨床研修病院の名称：鶴岡市立荘内病院						
								病院施設番号：030898						
基幹型病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	11～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
鶴岡市立荘内病院	内科	2	2	3	4	5	4	3	3	4	3	3	3	3
鶴岡市立荘内病院	救急部門	0	1	1	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0
鶴岡市立荘内病院	地域医療	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
鶴岡市立荘内病院	外科	1	2	1	1	0	1	1	0	1	1	0	0	0
鶴岡市立荘内病院	麻酔科	1	0	1	1	0	0	0	1	0	1	1	1	1
鶴岡市立荘内病院	小児科	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	1
鶴岡市立荘内病院	産婦人科	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	1	1	1
鶴岡市立荘内病院	精神科	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
山形大学医学部附属病院	選択科	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

※ 申請年度の次年度分、次々年度分を別葉で作成すること。

※ 「基幹型病院名」欄には、当該病院が申請年度の次年度又は次々年度に研修医を受け入れる基幹型病院の名称及びそのプログラムにおける自病院の担当分野をすべて記入し（自病院が基幹型病院の場合は、自病院を一番上に記入すること）、基幹型病院及び担当分野ごとに各週に受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令和6年度分)								臨床研修病院の名称：鶴岡市立荘内病院						
								病院施設番号：030898						
基幹型病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	11～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
鶴岡市立荘内病院	内科	2	2	3	4	5	4	3	3	4	3	3	3	3
鶴岡市立荘内病院	救急部門	0	1	1	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0
鶴岡市立荘内病院	地域医療	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
鶴岡市立荘内病院	外科	1	2	1	1	0	1	1	0	1	1	0	0	0
鶴岡市立荘内病院	麻酔科	1	0	1	1	0	0	0	1	0	1	1	1	1
鶴岡市立荘内病院	小児科	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	1
鶴岡市立荘内病院	産婦人科	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	1	1	1
鶴岡市立荘内病院	精神科	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
山形大学医学部附属病院	選択科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※ 申請年度の次年度分、次々年度分を別葉で作成すること。

※ 「基幹型病院名」欄には、当該病院が申請年度の次年度又は次々年度に研修医を受け入れる基幹型病院の名称及びそのプログラムにおける自病院の担当分野をすべて記入し（自病院が基幹型病院の場合は、自病院を一番上に記入すること）、基幹型病院及び担当分野ごとに各週に受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。

29. 研修プログラムの名称及び概要

プログラム番号： 030898201

病院施設番号： 030898

臨床研修病院の名称： 鶴岡市立荘内病院

臨床研修病院群番号： 0308981

臨床研修病院群名： 鶴岡市立荘内病院臨床研修病院群

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。

1. 研修プログラムの名称	鶴岡市立荘内病院臨床研修プログラム				
2. 研修プログラムの特色	当院は地域の基幹病院であり、数多くの症例に接することができるとともに、多くの学会認定施設となっているため、充実した幅広い経験を積むことができます。選択科の研修期間は約51週で、それまでに研修した診療科を含め、指導体制のある全ての科で研修が可能です。また、プログラムの順番変更や延長などについてもフレキシブルに対応できます。				
3. 臨床研修の目標の概要	高度化・多様化する医療と社会的必要性に対応できる医師の養成を目指すとともに、臨床医として求められる初期治療・救急医等のプライマリ・ケアの基本的診療能力（態度、技能、知識）を修得し、医師としての人格の涵養を目標とします。				
4. 研修期間	(2) 年 (原則として、「2年」と記入してください。)				
備考	研修後そのまま専門研修に入り3年以上研修可能な病院は、その旨を記入してください。				
5. 臨床研修を行う分野	研修分野ごとの病院又は施設（研修分野ごとの研修期間） * 同一の研修分野について複数の病院又は施設で研修を行う場合には、適宜欄を分割してすべての病院又は施設の名称（病院施設番号）を記入してください。 * 研修期間は、研修分野ごとに週単位で記入してください。各研修分野におけるプログラムの詳細は備考欄に記入してください。 * 選択科目については、その診療科を選択した場合の病院又は施設等を記入してください。				
		病院施設番号	病院又は施設の名称	研修期間	内一般外来
(記入例) x x 科		1234567	〇〇 病院	〇週	〇週
必修科目・分野	内科	030898	鶴岡市立荘内病院	24 週	在宅診療1週 ※一般外来研修は、内科、外科、小児科、地域医療研修期間中に計4週以上
	救急部門	030898	鶴岡市立荘内病院	8 週	
	地域医療	031263 032520	鶴岡協立病院 鶴岡市立湯田川温泉リハビリテーション病院	4 週	
	外科	030898	鶴岡市立荘内病院	4 週	
	小児科	030898	鶴岡市立荘内病院	4 週	
	産科婦人科	030898	鶴岡市立荘内病院	4 週	
	精神科	030071	山形県立こころの医療センター	4 週	
	一般外来	030898	鶴岡市立荘内病院	※ 4 週	
病院で定めた必修科目					

選択 科目	内科	030898	鶴岡市立荘内病院	51 週
	神経内科	030894	公立置賜総合病院	
	呼吸器科	031060	庄内余目病院	
	消化器科			
	循環器科			
	緩和ケア（内科）			
	小児科			
	外科			
	整形外科			
	脳神経外科			
	小児外科			
	皮膚科			
	泌尿器科			
	産婦人科			
	眼科			
	麻酔科			
	放射線科			
	病理科			
	救急部門			
	精神科	030071	山形県立こころの医療センター	
	保健・医療行政（地域保健）	033428	山形県庄内保健所	
	呼吸器外科	030894	公立置賜総合病院	
	心臓血管外科			
	耳鼻咽喉科			
	形成外科	031060	庄内余目病院	

備考：基幹型臨床研修病院での研修期間・・・最低 52 週 ※原則として、52 週以上行うことが望ましい。
臨床研修協力施設での研修期間・・・最大 12 週 ※原則として、12 週以内であること。ただしへき地・離島診療所等の研修期間が含まれる場合はこの限りでは無い。
研修プログラムに規定された 4 週以上のまとまった救急部門の研修を行った後に救急部門の研修としてみなす休日・夜間の当直回数・・・2 年次に月 1 ～ 2 回
救急部門（必修）における麻酔科の研修期間・・・4 週※但し、4 週を上限とする
一般外来の研修を行う診療科・・・内科、外科、小児科、地域医療
※地域医療の中での在宅診療を一般外来の欄に記載すること

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号	病院施設番号： 030898	臨床研修病院の名称： 鶴岡市立荘内病院
は、既に取得されている場合に記入してください。	臨床研修病院群番号： 0308981	臨床研修病院群名： 鶴岡市立荘内病院臨床研修病院群

6. 研修スケジュール (一年次・二年次：いずれかに○)

プログラム番号 030898201

臨床研修開始週を基準に各週の研修人数を記入してください。＊１

(No. 1)

病院又は施設の名称 (病院施設番号)	研修分野＊２	1～ 4 週	5～ 8 週	9～ 12 週	13～ 16 週	17～ 20 週	21～ 24 週	25～ 28 週	29～ 32 週	33～ 36 週	37～ 40 週	41～ 44 週	45～ 48 週	49～ 52 週
鶴岡市立荘内病院 (030898)	内科	5 5 5	5 5 5 5	5 5 5 5	5 5	5 5 5	5 5 5 5	5 5 5 5 5						
鶴岡市立荘内病院 (030898)	救 急 部 門				5 5 5 5						5 5 5 5			
鶴岡市立荘内病院 (030898)	外科								5 5 5 5					
鶴岡市立荘内病院 (030898)	小児科									5 5 5 5				
鶴岡市立荘内病院 (030898)	選択科													
公立置賜総合病院 (030894)														
庄内余目病院 (031060)												5 5 5 5	5 5 5 5	5 5 5 5
山形県立こころの医療センター(030071)														
山形県庄内保健所 (033428)														

＊１：臨床研修病院群における臨床研修で、１つの研修プログラムの中で研修医によって研修を行う研修分野の順番が異なる研修方法（たすきがけ方式等）を採用する場合は、当該研修プログラムの研修分野並びに当該分野の研修を行う病院又は施設の名称及び研修期間を本用紙に記入した上で、研修分野の順番のパターンごとに研修スケジュールを別葉に記入すること。また、同様の研修プログラムが複数存在する場合は、すべての研修プログラムを１枚にまとめたものを添付すること。

＊２：「研修分野」欄には、「５．臨床研修を行う分野」欄に記入した研修分野を記入すること。

＊３：選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号

病院施設番号：030898

臨床研修病院の名称：鶴岡市立荘内病院

は、既に取得されている場合に記入してください。

臨床研修病院群番号：0308981

臨床研修病院群名：鶴岡市立荘内病院臨床研修病院群

6. 研修スケジュール（一年次・二年次：いずれかに○）

プログラム番号030898201

臨床研修開始週を基準に各週の研修人数を記入してください。＊1

(No. 1)

病院又は施設の名称 (病院施設番号)	研修分野 ＊2	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	11～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
鶴岡協立病院(031263) 鶴岡市立湯田川温泉リ ハビリテーション病院 (032520)	地域医 療	5555												
鶴岡市立荘内病院 (030898)	産科婦 人科		5555											
山形県立こころの医 療センター(030071)	精神科			5555										
鶴岡市立荘内病院 (030898) 公立置賜総合病院 (030894) 庄内余目病院 (031060) 山形県立こころの医療 センター(030071) 山形県庄内保健所 (033428)	選択科				5555	5555	5555	5555	5555	5555	5555	5555	5555	5555

＊1：臨床研修病院群における臨床研修で、1つの研修プログラムの中で研修医によって研修を行う研修分野の順番が異なる研修方法（たすきがけ方式等）を採用する場合は、当該研修プログラムの研修分野並びに当該分野の研修を行う病院又は施設の名称及び研修期間を本用紙に記入した上で、研修分野の順番のパターンごとに研修スケジュールを別葉に記入すること。また、同様の研修プログラムが複数存在する場合は、すべての研修プログラムを1枚にまとめたものを添付すること。

＊2：「研修分野」欄には、「5. 臨床研修を行う分野」欄に記入した研修分野を記入すること。

＊3：選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。

31. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等

病院施設番号:030898

臨床研修病院の名称:鶴岡市立荘内病院

別紙4
(No. 1)

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験有:○	資格等	プログラム番号	備考 1プログラム責任者 2副プログラム責任者 3研修実施責任者
内科	小池 千里	鶴岡市立荘内病院	診療部次長兼内科主任医長	36年	○	指導者養成講習会修了、認定内科医(日本内科学会)、総合内科専門医(日本内科学会)、血液専門医(日本血液学会)、指導医(日本内科学会)	030898201	4
内科	安宅 謙	鶴岡市立荘内病院	内科系診療部長兼臨床工学室長兼内科主任医長兼血液浄化療法センター長兼物流管理センター長	29年	○	指導医養成講習会修了	030898201	4
内科	竹田 文洋	鶴岡市立荘内病院	副主任医長	30年	×		030898201	
内科	和泉 典子	鶴岡市立荘内病院	医長兼中央検査科長	26年	○	指導医養成講習会修了、認定内科医(日本内科学会)、総合内科専門医(日本内科学会)、指導医(日本内科学会)、緩和医療認定医(日本緩和医療学会)、緩和医療研修指導者(日本緩和医療学会)、緩和ケアの基本教育に関する指導者研修会(日本緩和医療学会)、日本がん治療認定機構 がん治療指導医	030898201	4
神経内科	丸谷 宏	鶴岡市立荘内病院	診療部主幹兼神経内科主任医長	27年	○	指導医養成講習会修了、神経内科専門医(日本神経学会)、脳卒中専門医(日本脳卒中学会)、認定内科医(日本内科学会)、神経内科指導医(日本神経学会)、認知症専門医(日本認知症学会)、認知症指導医(日本認知症学会)、指導医(日本内科学会)	030898201	4
神経内科	佐藤 和彦	鶴岡市立荘内病院	医員	7年	×	認定産業医(日本医師会)	030898201	
呼吸器科	阿部 恭子	鶴岡市立荘内病院	医長	17年	○	指導医養成講習会修了、認定内科医(日本内科学会)、総合内科専門医(日本内科学会)、呼吸器内科専門医(日本呼吸器学会)	030898201	4
消化器科	古屋 紀彦	鶴岡市立荘内病院	診療部主幹兼消化器科主任医長兼消化器病センター副センター長	28年	○	指導医養成講習会修了	030898201	4
消化器科	宮澤 弘哲	鶴岡市立荘内病院	医長	12年	○	指導医養成講習会修了、認定内科医(日本内科学会)、消化器病専門医(日本消化器病学会)、TNTコース終了(日本静脈経腸栄養学会)、嚥下機能評価研修会修了(PEG・在宅医療学会)	030898201	4
消化器科	渡邊 敏治	鶴岡市立荘内病院	医長	9年	×		030898201	

※「担当分野」欄には、様式10別紙3の臨床研修を行う分野及び病理(CPC)を記入すること。

※「所属」欄には、臨床研修指導医(指導医)等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

31. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等

病院施設番号:030898

臨床研修病院の名称:鶴岡市立荘内病院

別紙4
(No. 2)

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験有:○	資格等	プログラム番号	備考 1プログラム責任者 2副プログラム責任者 3研修実施責任者
循環器科	佐藤 匡	鶴岡市立荘内病院	統括診療部長兼栄養科長兼循環器科主任医長	34年	○	指導医養成講習会修了、循環器専門医(日本循環器学会)、総合内科専門医(日本内科学会)、認定内科医(日本内科学会)、指導医(日本内科学会)、心臓リハビリテーション指導士(日本心臓リハビリテーション学会)	030898201	4
循環器科	門脇 心平	鶴岡市立荘内病院	医長	15年	○	指導医養成講習会修了、認定内科医(日本内科学会)、総合内科専門医(日本内科学会)、循環器専門医(日本循環器学会)、心臓リハビリテーション指導士(日本心臓リハビリテーション学会)、CVIT認定医(日本心血管インターベンション治療学会)、TAVR実施医(経カテーテル的心臓弁治療関連学会協議会)	030898201	4
循環器科	石垣 大輔	鶴岡市立荘内病院	医長	15年	○	指導医養成講習会修了、認定内科医(日本内科学会)、循環器専門医(日本循環器学会)	030898201	4
循環器科	小島 研司	鶴岡市立荘内病院	参与	45年	○	指導医養成講習会修了、循環器専門医(日本循環器学会)、認定内科医(日本内科学会)、指導医(日本内科学会)	030898201	4
内科(救急)	菅 秀紀	鶴岡市立荘内病院	副主任医長	26年	○	指導医養成講習会修了、認定内科医(日本内科学会)、臨床研修プログラム責任者養成講習会修了、日本DMAT隊員	030898201	4
小児科	齋藤 なか	鶴岡市立荘内病院	診療部主幹兼小児科主任医長	24年	○	指導医養成講習会修了、小児科専門医(日本小児科学会)、小児科指導医(日本小児科学会)、小児神経専門医(日本小児神経学会)、日本臨床神経生理学会専門医(脳波分野)、日本臨床神経生理学会指導医(脳波部門)、てんかん専門医(日本てんかん学会)、てんかん指導医(日本てんかん学会)、インフェクションコントロールドクター(ICD制度協議会)	030898201	4
小児科	吉田 宏	鶴岡市立荘内病院	主任医長兼NICUセンター長	41年	○	指導医養成講習会修了、小児科専門医(日本小児科学会)、小児科指導医(日本小児科学会)、周産期新生児専門医指定研修施設暫定指導医、新生児蘇生法専門コースインストラクター	030898201	4
小児科	新井 啓	鶴岡市立荘内病院	副主任医長	14年	○	指導医養成講習会修了、小児科専門医(日本小児科学会)	030898201	4

※「担当分野」欄には、様式10別紙3の臨床研修を行う分野及び病理(CPC)を記入すること。

※「所属」欄には、臨床研修指導医(指導医)等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

31. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等

病院施設番号:030898

臨床研修病院の名称:鶴岡市立荘内病院

別紙4
(No. 3)

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験有:○	資格等	プログラム番号	備考 1プログラム責任者 2副プログラム責任者 3研修実施責任者
小児科	阿部 裕	鶴岡市立荘内病院	医長	18年	○	指導医養成講習会修了、小児科専門医(日本小児科学会)、小児科指導医(日本小児科学会)、小児神経専門医(日本小児神経学会)、臨床遺伝専門医(日本人類遺伝学会)	030898201	4
小児科	佐藤 紘一	鶴岡市立荘内病院	医長	15年	○	指導医養成講習会修了、小児科専門医(日本小児科学会)、小児科指導医(日本小児科学会)、救急科専門医(日本救急医学会)、日本DMAT隊員	030898201	4
小児科	佐藤 聖子	鶴岡市立荘内病院	医長	15年	×	小児科専門医(日本小児科学会)	030898201	
小児科	篠原 健	鶴岡市立荘内病院	医長	14年	×	小児科専門医(日本小児科学会)、新生児専門医(日本周産期・新生児医学会)、新生児蘇生法専門コースインストラクター	030898201	
外科	鈴木 聡	鶴岡市立荘内病院	院長兼院長兼看護専門学校長	37年	○	指導医養成講習会修了、外科専門医(日本外科学会)、消化器外科専門医(日本消化器外科学会)、外科指導医(日本外科学会)、消化器外科指導医(日本消化器外科学会)、マンモグラフィ読影評価B-1、暫定教育医(日本腹部救急医学会)、腹部救急認定医(日本腹部救急医学会)、がんリハビリテーション研修修了、認定病院総合診療医(日本病院総合診療医学会)	030898201	4
外科	坂本 薫	鶴岡市立荘内病院	診療部主幹兼外科主任医長兼集中治療センター長	22年	○	指導医養成講習会修了、外科専門医(日本外科学会)、消化器外科専門医(日本消化器外科学会)、消化器がん外科治療認定医(日本消化器外科学会)、消化器外科指導医(日本消化器外科学会)	030898201	3,4
外科	白幡 康弘	鶴岡市立荘内病院	診療部主幹兼消化器病センター長兼外科副主任医長	30年	○	指導医養成講習会修了、外科指導医(日本外科学会)、外科専門医(日本外科学会)、認定医(日本外科学会)、消化器外科専門医(日本消化器外科学会)、消化器外科指導医(日本消化器外科学会)、消化器がん外科治療認定医(日本消化器外科学会)、肝胆膵外科高度技能指導医(日本肝胆膵外科学会)、日本肝胆膵外科学会 評議員、麻酔科標病医、肝臓専門医(日本肝臓学会)、認定病院総合診療医(日本病院総合診療医学会)、日本腹部救急医学会 評議員、日本膵臓認定指導医(日本膵臓学会)	030898201	4

※「担当分野」欄には、様式10別紙3の臨床研修を行う分野及び病理(CPC)を記入すること。

※「所属」欄には、臨床研修指導医(指導医)等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

31. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等

病院施設番号:030898

臨床研修病院の名称:鶴岡市立荘内病院

別紙4
(No. 4)

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験有:○	資格等	プログラム番号	備考 1プログラム責任者 2副プログラム責任者 3研修実施責任者
外科	島田 哲也	鶴岡市立荘内病院	医長	16年	○	指導医養成講習会修了、外科専門医(日本外科学会)、医学博士学位(新潟大学)、消化器外科専門医(日本消化器外科学会)、消化器がん外科治療認定医(日本消化器外科学会)	030898201	4
外科	太田 依璃子	鶴岡市立荘内病院	医長	9年	×	外科専門医(日本外科学会)、認定病院総合診療医(日本病院総合診療医学会)、消化器がん外科治療認定医(日本消化器外科学会)、消化器外科専門医(日本消化器外科学会)、肝臓専門医(日本肝臓学会)	030898201	
整形外科	後藤 真一	鶴岡市立荘内病院	診療部主幹兼リハビリテーション科長兼整形外科主任医長	27年	○	指導医養成講習会修了、整形外科専門医(日本整形外科学会)、手外科専門医(日本手外科学会)	030898201	4
整形外科	日向野 行正	鶴岡市立荘内病院	副主任医長	25年	×	整形外科専門医(日本整形外科学会)、日本体育協会公認スポーツドクター	030898201	
整形外科	土屋 潤平	鶴岡市立荘内病院	医長	14年	×	整形外科専門医(日本整形外科学会)	030898201	
整形外科	高橋 勇樹	鶴岡市立荘内病院	医長	13年	×	整形外科専門医(日本整形外科学会)、公認スポーツドクター(日本体育協会)	030898201	
整形外科	吉田 謙	鶴岡市立荘内病院	医長	8年	×	整形外科専門医(日本整形外科学会)	030898201	
脳神経外科	佐藤 和彦	鶴岡市立荘内病院	副院長兼脳神経外科主任医長兼救急センター長	40年	○	指導医養成講習会修了、脳神経外科専門医(日本脳神経外科学会)、脳卒中専門医(日本脳卒中学会)、脳血管内治療専門医(日本脳神経血管内治療学会)、認知症専門医(日本認知症学会)、認定病院総合診療医(日本病院総合診療医学会)、メディカルコントロール指導医セミナー修了、山形県医師会認定かかりつけ医(山形県医師会)、神経内視鏡技術認定医(日本神経内視鏡学会)	030898201	4

※「担当分野」欄には、様式10別紙3の臨床研修を行う分野及び病理(CPC)を記入すること。

※「所属」欄には、臨床研修指導医(指導医)等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

31. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等

病院施設番号:030898

臨床研修病院の名称:鶴岡市立荘内病院

別紙4
(No. 5)

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験有:○	資格等	プログラム番号	備考 1プログラム責任者 2副プログラム責任者 3研修実施責任者
小児外科	八木 実	鶴岡市立荘内病院	病院事業管理者	41年	×	外科専門医(日本外科学会)、外科指導医(日本外科学会)、小児外科専門医(日本小児外科学会)、小児外科指導医(日本小児外科学会)、日本静脈経腸栄養学会認定医、日本静脈経腸栄養学会指導医、胃腸科認定医(日本消化管学会)、胃腸科専門医(日本消化管学会)、胃腸科指導医(日本消化管学会)、漢方専門医(日本東洋医学会)、漢方指導医(日本東洋医学会)、消化器外科認定医(日本消化器外科学会)	030898201	
小児外科	大滝 雅博	鶴岡市立荘内病院	外科系診療部長兼小児外科主任医長兼医療安全管理部長	28年	○	指導医養成講習会修了、小児外科専門医(日本小児外科学会)、外科専門医(日本外科学会)、医療安全管理者(日本病院会)、外科指導医(日本外科学会)、嚥下機能評価研修会修了(日本嚥下医学会)、小児外科指導医(日本小児外科学会)	030898201	4
小児外科	阿部 尚弘	鶴岡市立荘内病院	医長	12年	○	指導医養成講習会修了、外科専門医(日本外科学会)	030898201	4
泌尿器科	阿部 寛	鶴岡市立荘内病院	主任医長	37年	○	指導医養成講習会修了、泌尿器科専門医(日本泌尿器科学会)、泌尿器科指導医(日本泌尿器科学会)	030898201	4
泌尿器科	藤田 英	鶴岡市立荘内病院	医長	7年	×	ICLSインストラクター(日本救急医学会)、BLSインストラクター(アメリカ心臓協会)、ACLSインストラクター(アメリカ心臓協会)、塩化ラジウム(Ra-223)注射液を用いたRI内用療法における適正使用に関する安全取扱講習会修了	030898201	
産科	五十嵐 裕一	鶴岡市立荘内病院	副院長兼診療部地域医療連携室長兼産科主任医長兼婦人科医長	37年	○	指導医養成講習会修了、産婦人科専門医(日本産科婦人科学会)、産婦人科指導医(日本産科婦人科学会)、周産期専門医制度の母体・胎児専門医指導医、母体保護法指定医、新生児蘇生法専門コースインストラクター、臨床研修プログラム責任者養成講習会修了、緩和ケアの基本教育に関する指導者研修会(日本緩和医療学会)	030898201	1.4
婦人科	高柳 健史	鶴岡市立荘内病院	診療部主幹兼婦人科主任医長兼産科医長	31年	×	産婦人科専門医(日本産科婦人科学会)、産婦人科指導医(日本産科婦人科学会)、母性保護法指定医(山形県医師会)、技術認定医(腹腔鏡)(日本産科婦人科内視鏡学会)	030898201	
婦人科	矢野 亮	鶴岡市立荘内病院	医長	16年	○	指導医養成講習会修了、産婦人科専門医(日本産科婦人科学会)、日本周産期・新生児医学会新生児蘇生法「専門」コース(Aコース)修了、ALSOプロバイダーコース修了、婦人科腫瘍専門医(日本婦人科腫瘍学会)、「腹腔鏡」技術認定医(日本産科婦人科内視鏡学会)	030898201	4

※「担当分野」欄には、様式10別紙3の臨床研修を行う分野及び病理(CPC)を記入すること。

※「所属」欄には、臨床研修指導医(指導医)等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

31. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等

病院施設番号:030898

臨床研修病院の名称:鶴岡市立荘内病院

別紙4
(No. 6)

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験有:○	資格等	プログラム番号	備考 1プログラム責任者 2副プログラム責任者 3研修実施責任者
眼科	長村 洋徳	鶴岡市立荘内病院	主任医長	16年	×	眼科専門医(日本眼科学会)	030898201	
麻酔科	岸 正人	鶴岡市立荘内病院	診療部主幹兼麻酔科主任医長兼手術センター長	35年	×	麻酔科指導医(日本麻酔科学会)、麻酔科標榜医(厚生労働省)	030898201	
麻酔科	菊池 元	鶴岡市立荘内病院	麻酔科副主任医長	19年	○	指導医養成講習会修了、麻酔科専門医(日本麻酔科学会)、麻酔科標榜医(厚生労働省)、ペインクリニック専門医(日本ペインクリニック学会)	030898201	4
麻酔科	栗原 一貴	鶴岡市立荘内病院	医長	12年	○	指導医養成講習会修了、麻酔科認定医(日本麻酔科学会)、麻酔科専門医(日本麻酔科学会)、日本周術期経食道心エコー認定(日本心臓血管麻酔学会)、山形大学大学院医学系研究科医学専攻博士課程修了	030898201	4
放射線科	斉藤 聖宏	鶴岡市立荘内病院	診療部主幹兼放射線科科長兼放射線科主任医長	31年	○	指導医養成講習会修了、研修指導者(日本医学放射線学会)、放射線診断専門医(日本医学放射線学会)、肺がんCT検診認定医師	030898201	4
放射線科	長畑 仁子	鶴岡市立荘内病院	医長	13年	×	放射線診断専門医(日本医学放射線学会)	030898201	
病理科	内ヶ崎 新也	鶴岡市立荘内病院	病理科長兼病理科主任医長	42年	×	病理専門医(日本病理学会)	030898201	
病理科	椿谷 みさお	鶴岡市立荘内病院	医長	7年	×	病理専門医(日本病理学会)	030898201	

※「担当分野」欄には、様式10別紙3の臨床研修を行う分野及び病理(CPC)を記入すること。

※「所属」欄には、臨床研修指導医(指導医)等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

31. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等

病院施設番号:030898

臨床研修病院の名称:鶴岡市立荘内病院

別紙4
(No. 7)

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験有:○	資格等	プログラム番号	備考 1プログラム責任者 2副プログラム責任者 3研修実施責任者
精神科・心療内科	神田 秀人	山形県立こころの医療センター	院長(兼)教育研修部長	31年	○	指導医養成講習会受講、精神保健指定医	030898201	3、4
精神科・心療内科	須貝 孝一	山形県立こころの医療センター	副院長(兼)医療安全管理室長	30年	○	指導医養成講習会受講、日本精神神経学会認定専門医、日本精神神経学会専門医指導医、精神保健指定医	030898201	4
精神科・心療内科	東海林 岳樹	山形県立こころの医療センター	診療部長(兼)教育研修部副部長	21年	○	指導医養成講習会受講、日本精神神経学会認定専門医、日本精神神経学会専門医指導医、精神保健指定医	030898201	4
精神科・心療内科	白石 啓明	山形県立こころの医療センター	診療部副部長	19年	○	指導医養成講習会受講、日本精神神経学会認定専門医、日本精神神経学会専門医指導医、精神保健指定医	030898201	4
精神科・心療内科	五十嵐 文一	山形県立こころの医療センター	医長	10年	○	指導医養成講習会受講	030898201	4
救急科	五十嵐 季子	公立置賜総合病院	センター長	28年	○	臨床研修指導医講習会	030898201	4
救急科	鹿間 幸弘	公立置賜総合病院	部長	34年	○	臨床研修指導医講習会	030898201	4
泌尿器科	阿部 明彦	公立置賜総合病院	副部長	24年	○	臨床研修指導医講習会	030898201	4
眼科	高村 浩	公立置賜総合病院	統括診療部長	36年	○	臨床研修指導医講習会	030898201	4
形成外科	菊地 憲明	公立置賜総合病院	部長	31年	○	臨床研修指導医講習会	030898201	4
救急科	金子 忠弘	公立置賜総合病院	科長	18年	○	臨床研修指導医講習会	030898201	4
呼吸器外科	安孫子 正美	公立置賜総合病院	部長	32年	○	臨床研修指導医講習会	030898201	4
産婦人科	手塚 尚広	公立置賜総合病院	副院長	38年	○	臨床研修指導医講習会	030898201	4
産婦人科	小島原 敬信	公立置賜総合病院	部長	29年	○	臨床研修指導医講習会	030898201	4
耳鼻咽喉科	櫻井 真一	公立置賜総合病院	部長	29年	○	臨床研修指導医講習会	030898201	4
内科	江口 英行	公立置賜総合病院	副院長	37年	○	臨床研修指導医講習会	030898201	1、3、4
循環器内科	北原 辰郎	公立置賜総合病院	副部長	20年	○	臨床研修指導医講習会	030898201	4
循環器内科	新関 武史	公立置賜総合病院	副部長	20年	○	臨床研修指導医講習会	030898201	4
循環器内科	岩山 忠輝	公立置賜総合病院	医長	19年	○	臨床研修指導医講習会	030898201	4

※「担当分野」欄には、様式10別紙3の臨床研修を行う分野及び病理(CPC)を記入すること。

※「所属」欄には、臨床研修指導医(指導医)等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

31. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等

病院施設番号:030898

臨床研修病院の名称:鶴岡市立荘内病院

別紙4
(No. 8)

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験有:○	資格等	プログラム番号	備考 1プログラム責任者 2副プログラム責任者 3研修実施責任者
小児科	仙道 大	公立置賜総合病院	副院長	32年	○	臨床研修指導医講習会	030898201	4
麻酔科	大村 相樹	公立置賜総合病院	医長	17年	○	臨床研修指導医講習会	030898201	4
小児科	古山 政幸	公立置賜総合病院	科長	21年	○	臨床研修指導医講習会	030898201	4
麻酔科	鈴木 麻奈美	公立置賜総合病院	医長	14年	○	臨床研修指導医講習会	030898201	4
消化器外科	小澤 孝一郎	公立置賜総合病院	副院長	38年	○	臨床研修指導医講習会	030898201	4
消化器外科	水谷 雅臣	公立置賜総合病院	部長	31年	○	臨床研修指導医講習会	030898201	4
消化器外科	東 敬之	公立置賜総合病院	部長	29年	○	臨床研修指導医講習会	030898201	4
消化器外科	竹下 明子	公立置賜総合病院	部長	28年	○	臨床研修指導医講習会	030898201	4
消化器外科	森谷 敏幸	公立置賜総合病院	副部長	25年	○	臨床研修指導医講習会	030898201	4
消化器外科	横山 森良	公立置賜総合病院	医長	21年	○	臨床研修指導医講習会	030898201	4
消化器内科	齋藤 孝治	公立置賜総合病院	副院長	36年	○	臨床研修指導医講習会	030898201	4
消化器内科	渡辺 晋一郎	公立置賜総合病院	部長	27年	○	臨床研修指導医講習会	030898201	4
放射線科	伊東 一志	公立置賜総合病院	統括診療部長	32年	○	臨床研修指導医講習会	030898201	4
消化器内科	高野 潤	公立置賜総合病院	副部長	22年	○	臨床研修指導医講習会	030898201	4
消化器内科	佐藤 英之	公立置賜総合病院	副部長	20年	○	臨床研修指導医講習会	030898201	4
心臓血管外科	神部 良太	公立置賜総合病院	医長	17年	○	臨床研修指導医講習会	030898201	4
神経内科	栗村 正之	公立置賜総合病院	部長	33年	○	臨床研修指導医講習会	030898201	4
整形外科	林 雅弘	公立置賜総合病院	院長	41年	○	臨床研修指導医講習会	030898201	4
整形外科	大楽 勝之	公立置賜総合病院	部長	27年	○	臨床研修指導医講習会	030898201	4
整形外科	松木 宏史	公立置賜総合病院	部長	26年	○	臨床研修指導医講習会	030898201	4
整形外科	渡邊 忠良	公立置賜総合病院	副部長	21年	○	臨床研修指導医講習会	030898201	4

※「担当分野」欄には、様式10別紙3の臨床研修を行う分野及び病理(CPC)を記入すること。

※「所属」欄には、臨床研修指導医(指導医)等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

31. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等

病院施設番号:030898

臨床研修病院の名称:鶴岡市立荘内病院

別紙4
(No. 9)

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験有:○	資格等	プログラム番号	備考 1プログラム責任者 2副プログラム責任者 3研修実施責任者
麻酔科	那須 郁子	公立置賜総合病院	部長	30年	○	臨床研修指導医講習会	030898201	4
精神科	赤羽 隆樹	公立置賜総合病院	部長	27年	○	臨床研修指導医講習会	030898201	4
精神科	鈴木 春芳	公立置賜総合病院	副部長	24年	○	臨床研修指導医講習会	030898201	4
総合診療科	高橋 潤	公立置賜総合病院	部長	30年	○	臨床研修指導医講習会	030898201	4
脳神経外科	土谷 大輔	公立置賜総合病院	副部長	25年	○	臨床研修指導医講習会	030898201	4
内科(呼吸器)	稲毛 稔	公立置賜総合病院	部長	29年	○	臨床研修指導医講習会	030898201	4
内科(呼吸器)	平間 紀行	公立置賜総合病院	副部長	25年	○	臨床研修指導医講習会	030898201	4
消化器内科	齋藤 吉彦	公立置賜総合病院	医長	15年	○	臨床研修指導医講習会	030898201	4
内科(腎臓・透析)	新野 弘樹	公立置賜総合病院	医長	14年	○	臨床研修指導医講習会	030898201	4
呼吸器外科	加藤 博久	公立置賜総合病院	副部長	23年	○	臨床研修指導医講習会	030898201	4
地域医療、内科	寺田 康	医療法人徳洲会庄内余目病院	院長	39年	○	第4回徳洲会グループ指導医養成講習会、日本外科学会専門医・指導医、日本胸部外科学会専門医・指導医、日本心臓血管外科学会専門医・指導医、日本PC連合学会認定医・指導医	030898201	3、4
地域医療、循環器内科	菊池 正	医療法人徳洲会庄内余目病院	副院長	36年	○	第9回国際医療福祉大学・高邦会グループ臨床研修指導医養成講習会、日本内科学会総合内科専門医、日本循環器学会専門医、日本心血管インターベンション治療学会専門医・指導医	030898201	4
地域医療、形成外科	富樫 真二	医療法人徳洲会庄内余目病院	形成外科部長	29年	○	茨城県指導医養成講習会、日本形成外科学会専門医	030898201	4
内科	佐藤 満雄	鶴岡協立病院	名誉理事長	51年	○	日本内科学会認定内科医、日本臨床細胞学会専門医	030898201	4
内科、病理科	堀内 隆三	鶴岡協立病院	院長	41年	○	日本病理学会専門医研修指導医、死体解剖資格認定医	030898201	4
内科、呼吸器	高橋 牧郎	鶴岡協立病院	副院長、内科部長、呼吸器内科科長	36年	○	日本プライマリケア連合学会指導医	030898201	4
内科、消化器	高橋 美香子	鶴岡協立病院	副院長	30年	○	日本内科学会認定内科医、日本消化器内視鏡学会専門医・指導医、日本ヘリパクター学会ピロリ菌感染症認定医、PEG在宅医療研究会専門胃瘻管理者・増設者・教育者	030898201	4
内科、循環器	市川 誠一	鶴岡協立病院	副院長、循環器科科長	33年	○	日本内科学会認定内科医	030898201	4

※「担当分野」欄には、様式10別紙3の臨床研修を行う分野及び病理(CPC)を記入すること。

※「所属」欄には、臨床研修指導医(指導医)等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

31. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等

病院施設番号:030898

臨床研修病院の名称:鶴岡市立荘内病院

別紙4
(No. 10)

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験有:○	資格等	プログラム番号	備考 1プログラム責任者 2副プログラム責任者 3研修実施責任者
地域医療	武田 憲夫	鶴岡市立湯田川温泉リハビリテーション病院	院長	49年	○	指導医養成講習会修了、日本脳神経外科、学会専門医、日本がん治療認定機構がん治療認定医	030898201	3、4
地域医療	加藤 知邦	鶴岡市立湯田川温泉リハビリテーション病院	内科科長	40年	○	指導医養成講習会修了、日本外科学会認定医、温泉療法医	030898201	4
地域医療	上野 寿樹	鶴岡市立湯田川温泉リハビリテーション病院	内科科長	37年	○	指導医養成講習会修了、日本医師会認定産業医	030898201	4
地域保健	蘆野 吉和	山形県庄内保健所	医療監(兼)庄内保健所長	43年	○	第59回新臨床研修指導医講習会	030898201	3、4

※「担当分野」欄には、様式10別紙3の臨床研修を行う分野及び病理(CPC)を記入すること。
 ※「所属」欄には、臨床研修指導医(指導医)等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。
 ※「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。